

名古屋城界わいを歩く

市役所で例の「観光研究会」があるので、朝から猛暑であったが、名古屋城界わいを一周した。地下鉄の名城公園駅で降り、とにかく堀川の方に向かって公園を突き進んだ。

写真は堀端橋から撮った

名古屋城である。ここは天守閣のビューポイントの一つといわれるが、電線に邪魔されるものの、天守閣をうまく撮ることができた。



名古屋城と堀川の関係については、いろいろな本から情報を得ていたが、こうして歩いてみると歴史を実感できた。堀川沿いにすこし歩いていくと、ウェスティングナゴヤキャッスルが見えてくる。吹き出る汗を抑えるため、ホテルで暫し涼ませてもらった。高級ホテルらしく、じつに落ち着いた雰囲気である。

このホテルは名古屋城を一望できる景観を「うり」にしている。この土地には明治から終戦の年まで、中京地区最大の「名古屋好生館」という民間病院があったという。



名古屋城の北西にあたる、このあたりからは堀と緑と城が調和して、なかなかの景観を味わえる。汗をかきながら、名古屋城を違った角度から眺めることができた。

(2008年8月6日 記)